



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月9日

上場会社名 株式会社 ユー・エス・エス
コード番号 4732 URL <http://www.ussnet.co.jp>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 之弘

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役統括本部長 (氏名) 山中 雅文

TEL 052-689-1129

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

平成22年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	30,423	5.9	12,050	20.2	12,117	17.0	6,744	16.2
22年3月期第2四半期	28,715	△21.2	10,026	△24.8	10,354	△22.6	5,802	△20.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	228.62	228.54
22年3月期第2四半期	189.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	146,475	120,197	81.8	4,075.79
22年3月期	142,164	118,390	83.1	3,970.03

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 119,867百万円 22年3月期 118,146百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	72.50	—	95.50	168.00
23年3月期	—	91.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	102.00	193.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 有

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,000	1.9	24,100	9.8	24,300	7.9	14,100	10.9	482.40

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期2Q	31,325,000株	22年3月期	32,695,982株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	1,915,501株	22年3月期	2,936,474株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期2Q	29,497,607株	22年3月期2Q	30,590,293株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- (2) 当社は、平成22年10月1日を効力発生日として、当社の完全子会社である株式会社USS関東を吸収合併いたしました。この合併に反対する株主より、会社法第797条第1項に基づく当社株式の買取請求があり、自己株式の買取りを行っております。これに伴い、平成23年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、当該自己株式の買取りの影響を考慮しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(第2四半期連結累計期間)	7
(第2四半期連結会計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	12
4. 補足情報	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

わが国の自動車流通市場は、平成21年4月より政府の経済対策として実施されたエコカー減税、補助金制度や、最初の登録から13年に達した車両を廃車にし、エコカーへの買替えを促進するスクラップインセンティブなどのエコカー普及政策が、平成22年9月まで延長されたことにより、当第2四半期連結累計期間の新車登録台数は2,540千台（前年同期比16.8%増）と大幅に増加しましたが、中古車登録台数は3,140千台（前年同期比0.2%増）とほぼ横ばいとなりました。（台数は（社）日本自動車販売協会連合会、（社）全国軽自動車協会連合会調べ）

このような経営環境のなか、U S Sグループの当第2四半期連結累計期間の売上高は30,423百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は12,050百万円（前年同期比20.2%増）、経常利益は12,117百万円（前年同期比17.0%増）となり、四半期純利益は6,744百万円（前年同期比16.2%増）となりました。

オートオークション

オートオークション事業は、出品台数1,094千台（前年同期比1.6%減）、成約台数681千台（前年同期比5.8%増）、成約率62.2%（前年同期実績57.9%）となりました。

当第2四半期連結累計期間につきましては、成約率が高水準で推移したことや、手数料単価の上昇などにより、オークションにおける手数料収入は増加しました。また、減価償却費やのれん償却額の減少、オークションシステム機器のリースアップなどの影響もあり、前年同期と比較して大幅な増益を確保することができました。

当第2四半期連結累計期間には、四国地区における営業基盤を強化するため、愛媛県中古自動車販売商工組合が運営していたオークション会場「J U愛媛」の土地、建物および設備等を取得し、9月より「U S S四国」会場としてU S Sグループ18番目の会場を開設しました。

この結果、オートオークション事業は、外部顧客に対する売上高21,638百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益11,529百万円（前年同期比20.2%増）となりました。

中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」は、台当たり車両単価が下落したことなどから売上高は減少しましたが、台当たり粗利益が増加したことに加え、経費の見直しを実施したことから増益となりました。

事故現状車買取販売事業は、売上高はほぼ横ばいとなりましたが、営業経費の増加により減益となりました。

この結果、中古自動車等買取販売事業は、外部顧客に対する売上高6,037百万円（前年同期比4.0%減）、営業利益354百万円（前年同期比19.0%増）となりました。

その他

株式会社アビジは、廃自動車等の取扱量が大幅に増加したことに加え、鉄スクラップ等の資源相場が堅調に推移したため、増収増益となりました。

株式会社U S S東洋は、高付加価値製品である弾性舗装用ゴム製品の取扱量が増加し、増収増益となりました。

この結果、その他の事業は、外部顧客に対する売上高2,746百万円（前年同期比43.3%増）、営業利益106百万円（前年同期実績 営業損失23百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は146,475百万円となり、前連結会計年度末と比較して4,311百万円増加しました。これは、現金及び預金が1,637百万円増加したことや、オークション貸勘定が3,418百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は26,277百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,504百万円増加しました。これは、オークション借勘定が3,359百万円増加したことや資産除去債務に関する会計基準の適用により資産除去債務が768百万円増加したのに対し、自動車税預り金の減少などにより流動負債のその他が1,172百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は120,197百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,806百万円増加しました。これは、自己株式を2,147百万円取得したのに対し、利益剰余金が3,902百万円増加したことなどによるものであります。なお、自己株式の消却により、資本剰余金および自己株式がそれぞれ9,018百万円減少しております。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して1,037百万円増加し、30,719百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は8,526百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益11,563百万円（前年同期比13.7%増）、減価償却費及びその他の償却費2,308百万円（前年同期比17.7%減）、法人税等の支払額4,940百万円（前年同期比15.5%増）などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は2,075百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,031百万円（前年同期比13.3%増）などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は5,413百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出2,147百万円（前年同期実績0百万円）、配当金の支払額2,842百万円（前年同期比12.6%増）などによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間は、出品台数は当初計画を下回ったものの、成約率は高水準で推移し、成約台数は当初計画を上回る結果となりました。この結果、前回公表（平成22年5月11日発表）の連結業績予想を上回る結果となりました。

下期につきましては、政府の経済対策によるエコカー補助金制度が9月に終了し、駆け込み需要に対する反動などから新車販売が大幅に落ち込むことが予想され、オートオークション市場へも、その影響が懸念されます。

これらの状況を踏まえ、平成23年3月期の連結業績予想を、前回公表の予想から次のとおり変更しております。

通期の出品台数は2,400千台から2,300千台、成約台数は1,344千台から1,380千台、成約率は56.0%から60.0%に変更し、連結業績予想といたしまして、売上高は61,000百万円を見込み、営業利益は24,100百万円、経常利益は24,300百万円、当期純利益は14,100百万円を予想しております。

なお、平成22年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想との差異は以下のとおりです。

（通期）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表資料 (A)	60,900	23,600	23,800	13,500	453.63
今回修正予想 (B)	61,000	24,100	24,300	14,100	482.40
増減額 (B-A)	100	500	500	600	—
増減率 (%)	0.2	2.1	2.1	4.4	—
前期実績	59,849	21,940	22,511	12,717	418.85

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却費については、当連結会計年度に係る年間の減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

② 特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

① 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益および経常利益はそれぞれ11,140千円減少し、税金等調整前四半期純利益は527,534千円減少しております。また、当会計基準等の適用による資産除去債務の計上額は768,061千円であります。

② 企業結合に関する会計基準等の適用

当第2四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,319,401	29,681,673
オークション貸勘定	9,062,354	5,643,946
受取手形及び売掛金	2,497,484	2,885,270
たな卸資産	914,008	841,841
その他	1,775,305	1,254,733
貸倒引当金	△91,441	△84,868
流動資産合計	45,477,113	40,222,597
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,051,992	35,019,978
土地	53,082,253	52,812,529
建設仮勘定	586,589	13,232
その他（純額）	3,804,483	4,358,813
有形固定資産合計	91,525,320	92,204,553
無形固定資産		
のれん	154,538	357,185
その他	1,132,110	1,140,884
無形固定資産合計	1,286,649	1,498,069
投資その他の資産		
投資その他の資産	8,271,451	8,341,133
貸倒引当金	△85,177	△102,284
投資その他の資産合計	8,186,273	8,238,849
固定資産合計	100,998,243	101,941,472
資産合計	146,475,357	142,164,069
負債の部		
流動負債		
オークション借勘定	9,813,880	6,454,150
支払手形及び買掛金	574,270	577,341
短期借入金	249,920	399,920
未払法人税等	4,169,443	4,354,300
引当金	498,166	445,816
その他	4,031,106	5,203,830
流動負債合計	19,336,787	17,435,359
固定負債		
長期借入金	256,200	356,160
引当金	105,265	91,787
資産除去債務	768,061	—
その他	5,811,285	5,889,860
固定負債合計	6,940,812	6,337,807
負債合計	26,277,599	23,773,167

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881,312	18,881,312
資本剰余金	18,973,823	27,992,143
利益剰余金	99,469,832	95,567,831
自己株式	△12,511,557	△19,382,433
株主資本合計	124,813,411	123,058,853
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	26,024	59,531
土地再評価差額金	△4,972,243	△4,972,243
評価・換算差額等合計	△4,946,219	△4,912,712
新株予約権	27,199	18,206
少数株主持分	303,365	226,555
純資産合計	120,197,757	118,390,902
負債純資産合計	146,475,357	142,164,069

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	28,715,320	30,423,015
売上原価	13,289,752	13,283,023
売上総利益	15,425,567	17,139,991
販売費及び一般管理費	5,399,248	5,089,383
営業利益	10,026,318	12,050,607
営業外収益		
受取利息	21,954	21,477
不動産賃貸料	79,411	77,106
複合金融商品評価益	165,950	—
雑収入	79,236	85,349
営業外収益合計	346,552	183,932
営業外費用		
支払利息	8,796	4,456
不動産賃貸原価	7,640	7,399
複合金融商品評価損	—	100,200
雑損失	2,065	5,393
営業外費用合計	18,503	117,449
経常利益	10,354,368	12,117,090
特別利益		
固定資産売却益	9,408	9,910
貸倒引当金戻入額	15,753	22,713
その他	214	4,803
特別利益合計	25,376	37,427
特別損失		
固定資産売却損	8,696	9
固定資産除却損	24,434	17,699
投資有価証券評価損	168,109	56,707
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	516,394
その他	12,552	627
特別損失合計	213,793	591,437
税金等調整前四半期純利益	10,165,950	11,563,081
法人税等	4,382,487	4,742,237
少数株主損益調整前四半期純利益	—	6,820,844
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△18,955	76,809
四半期純利益	5,802,418	6,744,034

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	14,511,760	15,074,439
売上原価	6,739,547	6,639,831
売上総利益	7,772,212	8,434,607
販売費及び一般管理費	2,648,540	2,539,683
営業利益	5,123,672	5,894,923
営業外収益		
受取利息	20,132	20,083
不動産賃貸料	41,141	34,318
複合金融商品評価益	28,050	17,200
雑収入	40,574	54,563
営業外収益合計	129,899	126,165
営業外費用		
支払利息	4,215	2,080
不動産賃貸原価	3,818	3,774
雑損失	1,066	2,152
営業外費用合計	9,099	8,007
経常利益	5,244,471	6,013,082
特別利益		
固定資産売却益	7,678	6,430
貸倒引当金戻入額	16,127	12,399
その他	0	4,803
特別利益合計	23,806	23,633
特別損失		
固定資産売却損	8,234	—
固定資産除却損	19,301	6,202
投資有価証券評価損	168,109	—
その他	12,552	—
特別損失合計	208,198	6,202
税金等調整前四半期純利益	5,060,079	6,030,513
法人税等	2,234,989	2,536,255
少数株主損益調整前四半期純利益	—	3,494,257
少数株主損失(△)	△4,452	△7,163
四半期純利益	2,829,542	3,501,420

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,165,950	11,563,081
減価償却費及びその他の償却費	2,804,385	2,308,811
のれん償却額	396,089	202,646
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△62,983	△10,548
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△46,415	52,350
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△50,212	13,478
受取利息及び受取配当金	△25,575	△22,331
支払利息	8,796	4,456
投資有価証券評価損益 (△は益)	168,109	56,707
複合金融商品評価損益 (△は益)	△165,950	100,200
有形固定資産除売却損益 (△は益)	17,905	△3,462
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	516,394
オークション勘定の増減額 (△は増加)	628,448	△58,678
売上債権の増減額 (△は増加)	503,798	438,725
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,995	△3,841
預り金の増減額 (△は減少)	△686,942	△815,965
その他	△157,422	△891,597
小計	13,493,987	13,450,424
利息及び配当金の受取額	24,896	20,840
利息の支払額	△7,545	△4,117
法人税等の支払額	△4,276,956	△4,940,476
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,234,381	8,526,671
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	500,000	△600,000
有形固定資産の取得による支出	△910,378	△1,031,191
有形固定資産の売却による収入	58,735	13,044
無形固定資産の取得による支出	△131,913	△245,665
投資有価証券の取得による支出	△100,000	—
長期前払費用の取得による支出	△29,086	△199,616
子会社株式の取得による支出	△59,700	—
その他	3,283	△12,092
投資活動によるキャッシュ・フロー	△669,058	△2,075,519
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△191,000	△150,000
長期借入金の返済による支出	△404,960	△99,960
預り保証金の預りによる収入	116,070	109,651
預り保証金の返還による支出	△56,090	△39,226
自己株式の取得による支出	△21	△2,147,443
配当金の支払額	△2,523,699	△2,842,033
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△169,795	△244,413
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,229,497	△5,413,423
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,335,826	1,037,727
現金及び現金同等物の期首残高	18,445,871	29,681,673
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,781,697	30,719,401

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

（単位：千円）

	オートオーク ション事業	中古自動車等 買取販売事業	その他の事業	計	消去または 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	20,511,021	6,287,144	1,917,154	28,715,320	—	28,715,320
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	224,093	—	1,084	225,178	△225,178	—
計	20,735,115	6,287,144	1,918,238	28,940,498	△225,178	28,715,320
営業利益（または営業損失）	9,590,883	297,783	△23,156	9,865,511	160,807	10,026,318

前第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

（単位：千円）

	オートオーク ション事業	中古自動車等 買取販売事業	その他の事業	計	消去または 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	10,197,242	3,256,964	1,057,553	14,511,760	—	14,511,760
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	112,898	—	478	113,376	△113,376	—
計	10,310,140	3,256,964	1,058,031	14,625,136	△113,376	14,511,760
営業利益	4,884,347	153,670	5,103	5,043,121	80,550	5,123,672

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間および前第2四半期連結会計期間において、本邦以外の国または地域に所在する連結子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間および前第2四半期連結会計期間において、海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

① 報告セグメントの概要

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）および当第2四半期連結会計期間（自平成22年7月1日 至平成22年9月30日）

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、オートオークション運営およびオークションに係る各種サービスの提供、中古自動車等の買取販売、リサイクル事業などを展開しており、事業内容ごとに戦略を立案し、事業を行っております。

したがって、当社は、事業内容等を基礎としてセグメントを構成しており、「オートオークション」、「中古自動車等買取販売」の2つを報告セグメントとしております。

「オートオークション」は中古車取扱事業者を会員とするオートオークションの運営、通信衛星回線およびインターネット回線によるオートオークション接続サービスの提供、中古自動車情報サービスの提供、オートオークション専用端末の販売、オートオークションの出品車・落札車の運搬および引廻し、オートオークション会員向け金融サービスの提供を主な事業としております。

「中古自動車等買取販売」は中古自動車および事故現状車の買取販売を主な事業としております。

② 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオークション	中古自動車等買取販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,638,912	6,037,729	27,676,642	2,746,372	30,423,015	—	30,423,015
セグメント間の内部売上高または振替高	211,572	411	211,984	1,013	212,998	△212,998	—
計	21,850,485	6,038,140	27,888,626	2,747,386	30,636,013	△212,998	30,423,015
セグメント利益	11,529,881	354,399	11,884,280	106,896	11,991,177	59,430	12,050,607

当第2四半期連結会計期間（自平成22年7月1日 至平成22年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオークション	中古自動車等買取販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,582,481	3,201,137	13,783,618	1,290,821	15,074,439	—	15,074,439
セグメント間の内部売上高または振替高	95,788	350	96,139	574	96,713	△96,713	—
計	10,678,270	3,201,487	13,879,757	1,291,395	15,171,153	△96,713	15,074,439
セグメント利益	5,623,375	241,583	5,864,958	1,257	5,866,216	28,707	5,894,923

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビズの廃自動車等のリサイクル事業と株式会社U S S 東洋の廃ゴムのリサイクル事業であります。

2. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

（単位：千円）

	当第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結会計期間
セグメント間取引消去	58,088	28,036
のれんの償却額	1,341	670
合計	59,430	28,707

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- ③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報
当第2四半期連結会計期間（自平成22年7月1日 至平成22年9月30日）
該当事項はありません。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

① 自己株式の取得

当社は、平成22年5月11日開催の取締役会において自己株式を取得することを決議し、普通株式350,000株を取得いたしました。これにより、当第2四半期連結累計期間において自己株式が2,147,386千円増加しております。

② 自己株式の消却

当社は、平成22年5月11日開催の取締役会において自己株式を消却することを決議し、平成22年5月31日付で普通株式1,370,982株の消却を行いました。これにより、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金および自己株式がそれぞれ9,018,319千円減少しております。

（7）重要な後発事象

当社は平成22年10月1日を効力発生日として、当社の完全子会社である株式会社U S S 関東を吸収合併いたしました。この合併に反対する株主より、会社法第797条第1項に基づく当社株式の買取請求があり、下記のとおり自己株式の買取りを行っております。

1. 反対株主数	8名
2. 買取請求を受けた日	平成22年9月29日
3. 買取請求株式数	普通株式 450,000株
4. 買取株式数	普通株式 450,000株
5. 取得価額	2,803,500千円
6. 取得日	平成22年10月22日
7. 取得の方法	市場外取引

4. 補足情報

(1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	22年3月期	23年3月期		
	第2四半期	第2四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	287	304	5.9	610
営業利益	100	120	20.2	241
経常利益	103	121	17.0	243
当期純利益	58	67	16.2	141

(2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	22年3月期	23年3月期		
	第2四半期	第2四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	53	54	1.9	112
成約手数料	49	52	7.6	106
落札手数料	65	70	7.7	142
商品売上高	3	4	43.5	8
その他の営業収入	33	34	0.2	67
オートオークション計	205	216	5.5	436
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	43	40	△5.8	80
事故現状車買取販売	19	19	△0.0	39
中古自動車等買取販売計	62	60	△4.0	119
《その他》				
廃自動車等のリサイクル	14	22	51.3	41
廃ゴムのリサイクル	4	5	16.9	11
その他計	19	27	43.3	53
合計	287	304	5.9	610

(3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	22年3月期	23年3月期		
	第2四半期	第2四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	10	12	22.5	87
完工ベース	6	6	△2.7	87
減価償却費	27	22	△18.3	45

(注) 従来、設備投資額の対象を有形固定資産のみとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より無形固定資産を対象に加えております。また、前年同期実績および通期予想につきましても当第2四半期連結累計期間と同一の方法による表示へ変更しております。